



## 季節感

福岡などでは小春の時期にも咲いており、一年中見られる様な気がするが、今が盛りと咲き競っている… 托葉状の葉を仏さまのすわられる座に見立て…

『ホトケノザ』

平成23年3月3日  
福岡市西区金武室見川沿  
大塚俊樹



## 熊洞居人独言

## #59

KUMA は、毎日宝満山を眺めて生活している。朝、目覚めて雨戸を開けて宝満山に朝の挨拶をし、夕方雨戸を閉める時に宝満山へ一日のお礼を言っている。一年の内、雲に隠れている日以外は宝満山の姿を拝むことが出来る。KUMA が宝満山と拘わり始めたのは57年前頃からである。中学校三年になる時の春休みに、私の家に下宿していた九大の学生に連れられて登ったのが最初の登山であった。

その後、高校生時代には山岳部のトレーニング場として、山頂の岩場で岩登りの練習をしていた。それで、月に2~3回はキャンプ場でテントを張って寝泊まりしながら上宮の裏の岩場で遊んでいた。この時の上宮は現在の姿であったが、最初に登った時の上宮は黒焦げの姿であった。その頃までは木造で、現在の上宮の三倍くらいの大きさであったが、上宮内に寝泊まりしていた登山者がたき火をして、その火が火事の原因になったと言われている。

古代の宝満山は、古代の御笠郡=現在の大野城市・太宰府市・筑紫野市の守護神が住んでいる山であり、大宰府政庁の北東側=鬼門方向であった為、鬼門封じの神を祀るでもあった。この時代は【御笠山】と呼ばれていた。それで古代から、神を祀る人々が山中に住んでおり、寺院ができてからは僧侶達が宿坊を作っていた。中世(鎌倉・室町時代)には370坊あったと記録されており、江戸時代には25坊あったことが分かっている。江戸時代の宿坊跡は、調査によって全て確認されている。現在の太宰府市側には9坊、筑紫野市側には16坊があった。1つの坊には平均10名程度、山全体では僧侶とその家族、使用人など250~300人が暮らしていたと考えられている。しかし明治初期に、時の政府が行った廃仏毀釈により山伏=僧侶達が宝満山から追放され、山中には殆ど住む人が居なくなると考えられている。しかし、上宮には神官達が残っていたことが分かっている。昭和初期の写真では上宮の横に社務所があり、また山頂のすぐ下、現在のキャンプ場=座主院跡には、藁葺き屋根の住居がある。そして、それらの建物に6名の神官達が住み、神様を祀っていた。この時代でも福岡市民を始め、多くの人々が宝満山の神様にお参りするため登っていたと言われている。KUMA も、筑紫女学園大学の勤務が無くなる4月からは、月に1度はお参りを再開しようと思っています。

## ☆☆☆3月の夜空☆☆☆

- ★北天 : 北の空を見上げますと黄色く輝くカペラをいだく星座のぎょしゃ座があります。カペラは二つの星が互にくるくる周り合っている連星です。こぐま座とぎょしゃ座の間にひっそりと佇んでいるのがきりん座です。きりん座は明るい星がないですが北極星とカペラを結んだ直線上にある星からたどってみて下さい。
- ★南天 : ふたご座(兄星のカストルと弟星のポルックス)が輝きます。兄星より弟星の方が明るいです。神話によるとポルックスだけが父ゼウスと同じ不死身だったためとの事です。カストルとポルックスのふたご座とレグルスのしし座の間にかに座が佇んでいます。かに座には目立った明るい星がありませんがぼんやりと光る小さな雲のような天体があります。それがプレセペ星団です。プレセペ星団はスバルと同じ散開星団ですがスバルより遠くにあります。
- ★3月23日夕方には西の空に一等級の明るさの水星が一番高く上がります。見頃は18日~25日頃まで  
水星は通常、明け方の東の低い空か、または夕方西の低い空にしか姿を現せません。(中岡)

## 日本野鳥の会 福岡 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

3/20（日）4/17（日）  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

3/26（土）4/23（土）  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時 間：8:00～11:00  
集 合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

4/3（日）  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

4/9（土）  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：ボート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

4/10（日）  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：JR 和白駅前の公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4/5（火）  
県営春日公園（春日市）  
時 間：10:00～12:00  
集 合：旧公園管理センター前  
問合せ：090-7390-3561（小野仁）

## 日本野鳥の会 筑後 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

2/27（日）  
濃施山公園（みやま市）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：公園内すいせん橋  
0944-58-1672（野田達行）



## 福岡植物友の会 主催

詳細はお問い合わせください。  
090-7292-4226（北野星二）

## 三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

4/2（土）  
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）  
集 合：新九州歴史資料館駐車場  
時 間：9:30～12:30  
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200 円  
（保険料込み）

ブログは 三国丘陵  検索  で  
すぐにヒットします。



ナラメカイメンタマバチ 三国・松永

## 和白干潟を守る会

3/26（土）  
守る会定例会議  
時 間：10:30～12:30  
集 合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3/26（土）  
クリーン作戦 と自然観察会  
時 間：15:00～17:00  
集 合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

## 久留米の自然を守る会

3/27（日）  
筑後川春の野草を楽しむ会  
春の野草を河川敷で摘み、調理して  
愉しみます。  
時 間：9:00～14:00  
会 場：くるめウス  
会 費：400 円  
定 員：30 名 要事前申し込み  
持ち物：おわん、お皿、お箸、お茶  
問合せ：0942-46-8622（古賀）

## 福岡市油山自然観察の森 主催

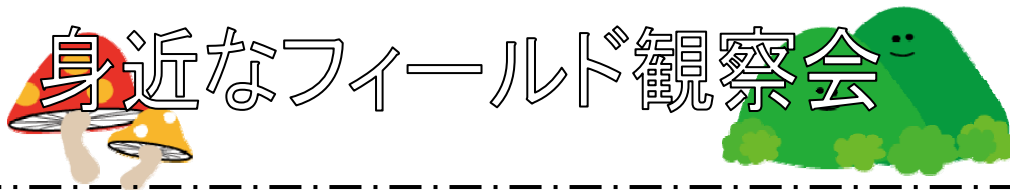
※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

3/20（日）  
春が来た！  
自然かんさつハイキング！  
小さな草花や木々の芽吹きなど春  
の気配を楽しみながら森を散策し  
ます。  
集 合：自然観察センター前  
時 間：10:00～13:00  
9:30 から受付  
対 象：一般  
申込み：不要  
雨天実施

3/27（日）  
ウグイスのせずりなどを楽しみなが  
ら、春の森の野鳥を観察します。  
集 合：自然観察センター前  
時 間：9:30～12:30  
9:10 から受付  
対 象：一般  
申込み：不要

問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100 円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）

1988 年より日本野鳥の会福岡  
が自然解説指導業務を受託して  
きましたが、3月27日が最後の  
観察会となります。これまでのご  
支援、ご協力、ありがとうございました。  
レンジャー一同



身近なフィールド観察会  
会長 吉國 正郎  
(自然観察指導員)

## 第87回 『身近なフィールド観察会』 発心公園花見観察会案内

日時 ; H23年3月27日(日)  
コース ; 発心公園と発心山麓付近散策(久留米市草野町664-1耳納連山のひとつ)  
集合 ; JR久大線草野駅前9:40  
(JR久留米駅9:14発(日田行き)筑後草野駅着9:35)  
担当者 ; 谷川 要/田中貞子  
※花見だけの参加もOKです。

## 第88回 太宰府春の森・秋の森観察会の案内

日時 ; H23年4月24日(日)  
コース ; 太宰府政庁跡より市民の森方面へ  
集合 ; ①JR二日市駅前9:00 ②西鉄二日市駅(ダイエー側)9:10 ③都府楼前駐車場9:30  
西鉄都府楼駅より政庁跡バス停までコミュニティバスが出ております。所要時間6分  
担当者 ; 高野明子/大久保操子/安永明紀美  
※比較的楽なコースですが、体力的に無理な方は短縮コースを用意します。

※申し込み締め切り 開催日の前々日金曜日までにいつもの通りTEL・FAX またはメールで下記まで

連絡先

吉國正郎

福岡市南区老司4丁目24-15

TEL/FAX(昼・会社)092-571-6000

TEL(夜・自宅)092-565-2664

携帯 090-8223-6272

E-mail [yamax@hop.ocn.ne.jp](mailto:yamax@hop.ocn.ne.jp) (山崎美知男)

\*\*\*\*\*

## ～投稿・映画『ミツバチの羽音と地球の回転』～

先日、東京・渋谷ユーススペースで上映中(～3月31日)の映画『ミツバチの羽音と地球の回転』(監督:鎌仲ひとみ)を鑑賞する機会がありました。

今、中国電力は、山口県熊毛郡上関町長島の田ノ浦で上関原子力発電所の建設工事をしています。

この映画は、田ノ浦対岸にある同町祝島における原発建設反対運動を端緒に、日本のエネルギー問題の課題を提起している作品です。

もちろん、監督の製作意図全てが容れられるものではありませんが、いろいろな問題を考えるきっかけにするのにちょうど良い作品だと感じました。

もし観ることのできる機会があるのなら、できるだけ多くの人に観てほしいなあ、というのが私の感想です。

付記:上関原発建設工事では、この2月21日早朝、反対運動の隙をついての田ノ浦埋め立て工事着工がありました。

田ノ浦は、日本の生物多様性におけるホットスポットと言われている場所です。

(吉田)



2011. 2. 25 西日本新聞  
糸島市

# ヒヨドリ食害深刻

収穫前の  
キャベツなど  
2カ月で4600万円に



ヒヨドリに食い荒らされたキャベツ。えぐむように食べられている  
糸島市東



畑に降りたヒヨドリ(糸島市提供)

県内有数のキャベツやフロッコリーの産地、糸島市でヒヨドリが収穫間近の野菜を食い荒らす被害が相次いでいる。同市の冬は寒さが厳しく、餌を求めて山から下りてくるのだらうとみており、2カ月間で被害額が4600万円に上ると、最近の約10倍に達している。畑の上を覆う防鳥網を購入する農家に、費用の一部補助を始めた。

同市によると、ヒヨドリ被害は、過去5年では年間600万〜1千万円で推移していた。ところが、昨年12月中旬から多発し、市全域で深刻化。昨年度の鳥獣被害で最も大きかったイノシシの3615万円を、2カ月程度で約1千万円超えた。

ヒヨドリは群れて飛来し、キャベツの玉をえぐるように食べたり、葉をついたりしているという。ふん青も加わり、被害量はキャベツが316ト、フロッコリー23・4ト、ケール104・7ト。昨年度のJA糸島の取扱量比でキャベツは10・3%、ケールは18・9%に当たる。

同市東でキャベツを栽培する藤波セツヨさん(70)は「数時間おきに50羽ほどの群れが飛んできて一気に食い荒らすこともある。これだけの被害は十数年ぶり。防鳥網もたると玉をつつかれ大変」と頭を悩ませている。

九州大学理学研究院の江口和洋助教(鳥類生態学)は「調査していないのではっきりしないが、寒さが例年より厳しい冬に、群れをつくって行動しているのは餌を求めて移動しているとも考えられる」と話している。

同市は、農家が防鳥網を購入した場合、3分の1の補助金を出すことにし、約60万円の手備費を予算に充てている。県園芸振興課によると、他の産地からもヒヨドリ被害の情報は入っているが、まだ詳しい状況は把握していないという。

ヒヨドリの農業被害は、以前からよく言われていることですが、今年は特に被害が大きいです。しかし、被害にあわれている方にはとてもお気の毒なのですが、ヒヨドリに限らず、シカ、イノシシ、など自然物が相手であれば、相手との共存を図りつつ、知恵を尽くして折り合っていくしかないのでは・・・と、思います。その場合、害鳥駆除や天敵導入など、安易に導入しては、決して解決にならないことを、理解しておきたいものです。(本のむし)



**\* その2 \*** 池田友行さんからの投稿です。

2月16日（水）本日、脊振山系に新雪が降ったのでワングルの後輩と金山へ出かけました。

所要時間は通常の2倍以上、新雪に足跡をトレースしながら雪山を楽しんできました。

動物の足跡(右写真→)もあちこちに見られ自然界の新鮮さに触れる事ができました。

自宅から30分で登山口に、こんな近くに積雪1メートルの山歩きができるのが脊振です。

—池田友行—



自分たちが建てた道標もすっぽり雪の青空の中の金山山頂(967m)にて



下りの直登ルートで脚もすっぽり埋まってしまう





# 旧暦の歳時記

平成23年 早春

写真と文: 本のむし



水面に浮かぶホシハジロの雄。この形からすると「浮寝鳥」だが、それは冬の季語となる。「水温む」といきたかったが、まだ風は冷たく、残る寒さに「余寒」となった。

2月1日(旧12月29日)春日市白水大池

世を恋うて人を恐るる余寒かな 鬼城

平成23年(2011年)の、旧暦の春は2月3日から5月2日まで。そのうち、2月3日から3月4日までが「早春」にあたります。今月は、私のデジカメ日誌から、早春に出会った「季節感」をいくつか紹介します。



アキニレの幹の小さなくぼみに体を寄せ合って冬を越すヨコヅナサシガメの5齢幼体たち。傍にあるイラガのさなぎの殻は何かに使っているのだろうか。この日、外気はマイナス1℃。この虫の面構えは、なかなかである。2月13日(旧1月11日)小郡市津古九州歴史資料館

冴え返る面魂(つらだましい)は誰にありや 草田男



蝶は春の季語。成虫で越冬しているキタテハが、春の日差しに誘われて活発に飛んでいた。虚子の句の黄は、キチョウの仲間であつたろうか。キタテハのキは山吹色と観たのかもしれない。2月27日(旧1月25日)筑紫野市平等寺彩の森

初蝶来何色と問う黄と答ふ 虚子



枯色に山朱萸の黄の新しや 高木晴子



イヌフグリの仲間のフラサバソウ。Oさんから教わった「フランシエとサバチエ」の名が、なかなか覚えられない。なかなか可憐な花である。3月1日(旧1月27日)春日市原町春日公園

野の草に醜草はなし犬ふぐり 汀子

今年も庭のサンシュユが蕾をつけた。1月のロウバイに始まりマンサク、菜の花、タンポポと黄色は春の色と言ってもよいかもしれない。そんな中で、沈丁花が咲き始め、芳香を放ち始めた。この組み合わせは何だか切なくなる。3月4日(旧1月30日)筑紫野市天拝坂

今回の季語は、「余寒」「冴え返る」「蝶」「犬ふぐり」「さんしゅゆ」でした。



## 九州環境教育ミーティング 熊本大会に参加してきました。

報告 田字草

3月4日から6日にかけて、熊本市の熊本城のそばで、「生物多様性を九州で考える」という主題で、6つの分科会が開催されました。

はじめに、生物多様性とはどう理解すれば良いかということ、生物多様性の国際会議の事務局も体験された名古屋大学の香坂玲先生の講演を聞いて、そこから分科会に分かれ、話し合いました。私は、第1分科会を担当しました。その内容を簡単に報告します。センスオブワンダー この生きもののふるさとはどこ？ という課題で、お城のそばと近くの坪井川に沿った公園で、いろいろな生きものを楽しみました。



講演中の香坂先生



700年の樹齢のクスノキにみんなで挨拶をしてから、道路沿いの緑地で植物を中心に、在来種と外来種という視点で観察しました。その結果、道路沿いの緑地では、ほとんどが外来の植物でした。一方、お城の中の空堀では在来種の割合が、ぐーっと増えました。もうシロバナタンポポやスズシロソウが花を咲かせていました。



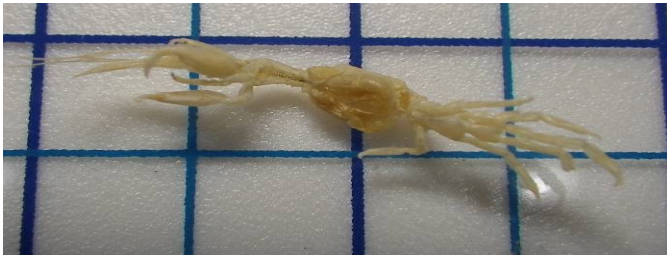
キュウリグサの花 ↓



まとめた絵をここに載せました。参加者一人一人の発見が有りました。



# ☆☆☆これは何だろう!?☆☆☆



和歌山県湯浅から取り寄せた、チリモン(チリメンモンスター)の中におりました。これは、何だかわかりますか。大きさは約2センチほどです。

《前回(187号)の解答》

角度を変えて見てみると、少しは解りやすいのでは…。それにしても、樹の皮のごつごつした感じをよく真似ていますね。コブガ科のキノカワガでした。

出題は「本のむし」でした。



## ◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

**インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。**  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

**郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783**

**年会費:2000円**

### 皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。

### 定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として**毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで**自然案内舎(有)クラブードにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!

次回の定例会は、**2011年4月8日(金)午後6時より事務局で行います。4月号の原稿は、4/4(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。**

**※お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

### 他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後 会報まめわり 第119号 11.03.0
- ・NPO法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 No. 162 2011年2月1日

お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表: 冷川昌彦/事務局長: 小野 仁/  
編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計: 宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南區梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(有)クラブード内 TEL & FAX: 092-400-1765  
URL: <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2月の定例発送会は、山本勝・冷川昌彦・辛島真由美・田村耕作が参加。藤川渡・大塚俊樹・田中健二から欠席の連絡有り。MKからチーズケーキの差し入れ有り。2/27油山市民の森で土筆を見かけました。仕事場の近くではフキノトウを見つけました。こういう季節を感じるものは見つけるとなんだかほっとします。田字草

